

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-152	15-058	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Profiles of substance use disorders in patients of therapeutic communities: link to social, medical and psychiatric characteristics. 治療コミュニティの患者における物質使用障害の特徴：社会的・医学的・精神医学的合併症との関連		
執筆者		
Fernández-Calderón D, Fernández F, Ruiz-Curado S, Verdejo-García A, Lozano ÓM.		
掲載誌		
Drug Alcohol Depend. 2015 Apr 1;149:31-9. doi: 10.1016/j.drugalcdep.2015.01.013.		
キーワード		PMID
合併症、物質使用障害、潜在クラス分析		25682479
要 旨		
目的： 治療コミュニティ（TC）の患者は複数の物質使用障害（SUD）をよく有しており、治療に抵抗性である。本研究の目的は、TC 患者における SUD の特徴を解明し、これらの特徴と社会的・医学的・精神医学的合併症との関連を分析することである。		
方法： 観察研究である。2004 年から 2012 年にかけてスペイン、アンダルシアにある 6 つの公的な TC に参加した患者 4,102 名において、SUD およびその社会的・医学的・精神医学的な合併症について調査した。潜在クラス分析を用いて分析を行った。		
結果： TC 患者において 4 つの異なる物質使用障害を確認した：コカイン・オピオイド（Class 1：37%）、コカイン・オピオイド・ベンゾジアゼピン（Class 2：25.3%）、アルコール（Class 3：24.7%）、コカイン・カンナビス・アルコール（Class 4：12.9%）。Class 1 と 2 の患者は好ましくない社会的・医学的特徴をより合併していた。Class 2 の患者はまた衝動スペクトラム精神障害をより合併していた。Class 3 の患者は気分・不安障害および認知機能障害をより合併していた。Class 4 の患者は精神疾患をより合併していた。		
結論： TC 患者は様々な物質使用障害を有していた。ヘロイン・コカイン・アルコール・ベンゾジアゼピン使用者は好ましくない社会的・医学的特徴を合併し、衝動制御障害とも関連を認めた。アルコール使用者およびカンナビス・コカイン使用者は、認知機能障害および精神疾患をそれぞれ合併していた。		